



盛大に設立を祝った祝賀会
＝名瀬市の奄美観光ホテルで

日本造園連盟支部奄美大島造園組合（瀬源廣理 会長、6社）は18日、名瀬市の奄美観光ホテルで設立総会を開き、資質向上のための講習会や組織体制の強化等を柱とする新年度事業計画を決めた。また、事務局から赤川義昭氏（鹿児島県アスファルト合材センター）転動に

県アスファルト合材協会（米盛 会長）は18日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第18回通常総会を開き、アスファルト混合物事前審査制度について調査研究などを行う。また、事務局から赤川義昭氏（鹿児島県アスファルト合材センター）転動に

県アスファルト合材協会総会

混合物 事前審査の調査研究



供給体制の確立を——と挨拶する米盛会長
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

の比率も昨年度は再生が多くなっている。依然として建設業界を取り巻く環境は厳しいものがあるが、品質の保持、価格の安定を図り、供給体制を確立していききたいと挨拶。続いて、議長に大坪稔明副会長（大坪建設）を選出し、議事に入り、15年度事業・収支決算、16年度事業計画・収支予算案などを慎重審議し、全案を原案通り可決承認した。また、事務局から赤川義昭氏（鹿児島県アスファルト合材センター）転動に

組織体制の強化等柱に

奄美大島造園組合設立総会

ど、将来における造園建設業の発展を図ることが大きな課題と挨拶、目的達成に向けお互いに結束を固め一致協力していくことを確認した。議長では瀬崎輝実副理事長（南遼園）を議長に、15年度事業報告及び収支決算、16年度事業計画及び収支予算案等について審議、15年度事業報告では会設立に至るまでの過程と庭の日およびびどりの日になみ実施した苗木無料配布・記念植樹等の報告を行った。

新年度事業計画は、①現場代理人の資質向上のための講習会開催の業務に関する官公庁などへの陳情活動③組合の組織体制強化活動④地域社会に貢献するためのボランティア活動などを掲げている。



各種研修会開催等を決めた総会
＝鹿屋市のホテルさつき苑で

林道工事の施工技術向上を図る各種研修会開催や安全管理パトロール等の労働災害未然防止活動、新たな工事箇所発掘などを柱とする新年度事業計画を執行部原案通り承認した。また、役員改選では久木田支部長（久木田組）を再選した。

県森林土木協会曾於支部総会（久木田支部長、鹿屋市のホテルさつき苑で16年度通常総会を開き、治山・

新たな工事発掘を

薩摩街道保存会総会 道標建立や歩く会活発に



予算は少ないがやることは大きく——と挨拶する丸目会長＝川内市のホテル太陽パレスで

薩摩街道保存会（丸目直樹会長）は15日、川内市のホテル太陽パレスで16年度総会を開き、薩摩街道道標の建立や街道筋のボランティア清掃等の活動計画を決めた。また、県建築士会川薩支部青年・女性部（吉満光

長に選出、3号までの議案を審議した結果、執行部原案通り可決承認した。また、総会後は吉永義久県農林水産事務所森林土木課長が、重点項目の労働安全・適正な施工体制の確保・木材利用等について講話した。新役員は次の通り。支部長＝久木田徳二（鹿屋市）理事＝福谷俊哉（瀬戸山組）鶴田親（鶴田組）二部部長＝九州大会長崎会場で発表した「薩摩街道保存活動」報告の再演と一緒に活動している陽成・高城校区からの現状報告もあった。吉満部長（吉満組）から同会活動が高く評価され九州大会で2位を受賞したと

島県ビル空調研究会総会



電力・蓄熱の効率的な活用を——と挨拶する赤坂会長＝鹿児島市のマリンパレス鹿児島で

県と県内各関係団体、ゼネコン、学識経験者らで組織する県ビル空調研究会（会長・赤坂裕鹿児島大学工学部教授）は17日、鹿児島市のマリンパレス鹿児島で16年度総会を開き、電力利用の効率化などを柱とする新年度事業計画を決めた。

電力利用の効率化を

県ビル空調研究会総会

総会では、初めに赤坂会長が「安定的な供給が大事であり、日夜やっていかなければならない。電力・蓄熱を効率的に活用し、電力エネルギーの安定供給を目指していただきたい」と挨拶。続いて、赤坂会長を議長に議事に入り、15年度

薩摩街道保存会（丸目直樹会長）は15日、川内市のホテル太陽パレスで16年度総会を開き、薩摩街道道標の建立や街道筋のボランティア清掃等の活動計画を決めた。また、県建築士会川薩支部青年・女性部（吉満光

県建築士会「かしま地域貢献活動センター」事業にも位置付けられ、同会からの参加者を含め、員数は現在、136人。司会は福山征志副事務局長（南福山組）。開会挨拶は奥野也理事（奥建築設計事務所）。事務局報告は中俣知大事務局長（数寄屋舎）。監査報告は西一紀監事（西建築設計事務所）。

都市再生機構初代

理事長に伴総裁

7月1日にスタートする独立行政法人都市再生機構の初代理事長に、伴義都都市基盤整備公団総裁が就任する。18日の閣議で了解された。

伴氏は、昭和38年東京大学法学部卒、同年建設省に入った。地方厚生課長、都市政策課長、建設経済局長、大臣官房長などを歴任し、平成8年建設事務次官、11年6月から住宅・都市整備公団副総裁、13年1月から都市公団総裁を務めている。